



岡山市鹿田町2-5-1 TEL.086-235-7445 FAX.086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

5階(SPFマウス飼育フロア)に最新型ラック導入



11月10日より全面稼働を開始したAP型ラック。今回5階に25台が導入されました。

5階收容能力2.4倍増、臭気や粉塵などを室内に出さない快適な実験・作業環境

このたび5階(SPFマウスバリア区域)に、陽圧型一方向気流飼育ラック(AP型ラック)が導入され、11月10日から稼働を開始しました。

当施設の主力であるオープンタイプ飼育ラックと異なり、臭気や粉塵が飼育室内に出ない構造となっています。最近大きな課題としてクローズアップされてきている実験従事者・飼育担当者の動物アレルギー対策の上でも、大きな効果が期待できます。

またこれによってマウスの收容能力も飛躍的に強化されました。5階(SPFバリア区域)だけでも收容能力は2.4倍増。4階(コンベンショナル飼育区域)での陰圧型一方向気流飼育ラック導入、部屋貸し飼育室解消、さらに旧館2階一部飼育室の共用化とも相まって、多くの研究者の皆さんから寄せられている飼育スペース確保のご要望にお応えできるものとなりました。

	平成19年4月	平成20年11月末現在	増加ケージ数	收容能力増加倍率
5階(SPFバリア飼育区域)	710	1735	1025	244%
4階(コンベンショナル飼育区域)	450	720	270	160%
2階(コンベンショナル飼育区域)	0	406	406	—

マウス收容能力の推移(単位:ケージ)

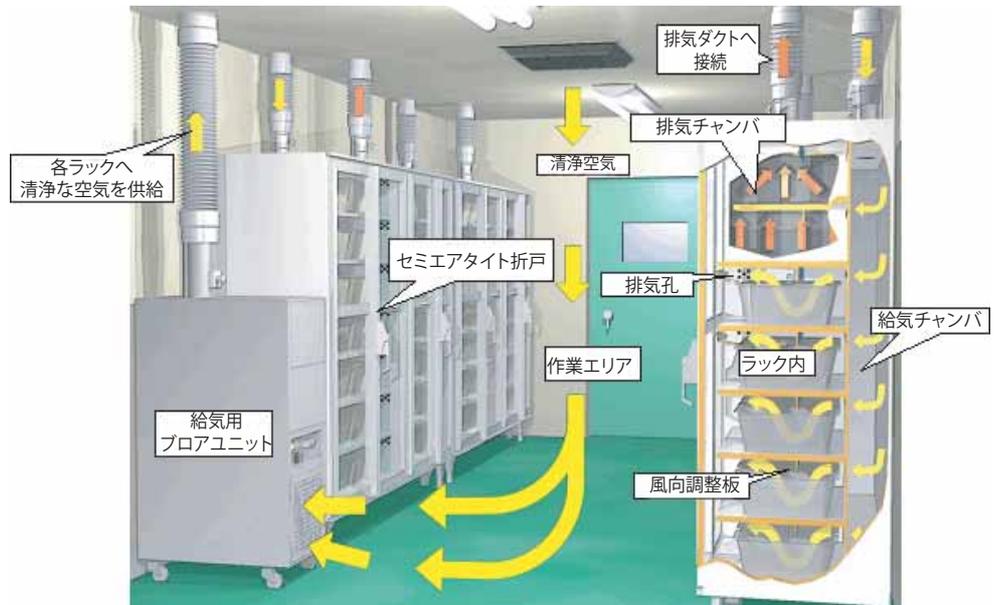
今回5階SPFマウスバリア区域に設置されたAP型飼育ラックは、以下の特徴を有する飼育ラックです（右図参照）。

①ラック内部は陽圧に保持され、作業空間で発生した汚染物質の動物への曝露を抑制することができます。

②ラック前面はセミエアタイト方式の折戸が装備され、内部は陽圧あるにもかかわらず、臭気や粉塵の外部への流出がありません。またこの折戸は動物の万が一の逃亡、昆虫等の飼育空間への侵入を防止する上でも効果的です。

③飼育室天井から吹き出す清浄空気はさらにフロアユニットのHEPA フィルターを通過し、ラック内部に供給されます。そしてラック各段の吸い込み口から排気ダクトを通過して排出されます。飼育室内に排気が流出することはありません。

④排気ダクトの途中に微生物モニタリング用の飼育ボックスが設けられ、おとり動物を使った病原微生物の捕捉を効果的に行うことができます。



AP型ラック製造元・(株)精研のホームページより転載



微生物モニタリング用飼育ボックス

お知らせ

動物実験計画書に名前が記載されている方は全員
**教育訓練の受講が
 必要です**

岡山大学動物実験規則の制定・施行にと
 もない、今年度から「教育訓練」という新
 たなシステムがスタートしました。従来か
 らある動物資源部門の利用登録のための研
 修会とは別に、本学で動物実験に関わりを
 持つようとするすべての人は必ず受講しな
 ければなりません。

具体的には、**動物実験計画書の実験責任
 者・実験実施者欄に氏名が記載されている
 方の中で、1名でも未受講者がいる場合は、
 その実験計画書は承認されなくなります。**

今年度は津島・鹿田両地区ですでに4回
 の教育訓練をおこないました。来年1月ご
 ろに予定されている次回の教育訓練が、今
 年度最後の機会です。まだ受講されていな
 い方は、ご注意ください。（お問い合わせは動
 物資源部門受付・事務室まで）